



9
3800
3



門口 8
號 3800
卷 3

大和俗訓卷之五



衣服

衣服

衣服の男のものをいふは辨とを先とゆひぬしぬは古く男と
し乃名目をつゝぬるふまが衣服次は言語次は
とたぬととせりさゆと用くねをふば知るありされ
む衣服をもけしんく男はお慈とる西とととび
用ぬぐお慈せざるいふかざり也お慈といふ年と位と
時と處とに似合ふは紙云津色法極より人をも年
乃知るといふとく老らるる人の目もきく
げと宜かしのとけりいりたるも老るるもきりたる
りやきとひも今と似合ざるより年と位よ

昭和九年
三月二十日
七十四号
子孫

龍山
子孫

大和俗訓

るより人をもまき人あけおはせしむるより用はなる
理なきことどもはなれ用はなるをさくしる理め
ふ征する一辞ハ簡要とす何れも古人もつて其真
言は出さば有用のものをいふをいふあり

人乃ちも我をよふかたどもあぢゆりてたそあり
めんともいふいふは信じていり公の中よりあく
ともいふやそをなまをほまていりて言はば物と
いふいふのさんたる時やく口よいふもいふ言ひ
く後悔ありををりげ氣は平らふ一怒りも後悔ま
りいふいふはなれいふは酒は酔する時とむと
いふいふいふは酒さめく後悔はなれ物と人

よ悔は成る事も用いふるやいふはあく後悔とくし是皆
後悔たる也言よりとげよ文はあふの心もこの也
とくいふいふはいふいふの由よりいふ

世俗のより信するもの多くもいふもいふは
いふやいふも多きいふりあり神佛の奇持と俗人
いふより信するもの多き事多し元正法はハ奇怪
きんつあわはハ正法はあど奇怪ありとてまふる
神仏をかむいふとて信するもの出さる事
いふよふなる一奇異なる事をいふとく久し
徳をいふと事と知れども鬼魅狐狸のあまはハ奇怪
なる事とありとも多きいふ事ありともく久し

どくく次おんつれり人々をさるるをさるるを成候しと候
よいやとさるるどく成候なりとてり所をさるる世よおか
し候どくうら^{ミカ}い^{ミカ}人乃とづは候もさるる候り候り候り
と人れ^カ胡^カ乱^カとら^カ成候ほど又人よかされど我も又^ラ虚^ラ言
をい^カ乃^カ罪^カあり所い^カんで人よか^カり人^カと

あや^カき^カ事^カと身よま^カさ^カも^カ同^カみ^カん^カだ^カら^カる^カれ^カと^カり^カあ^カり
どく成候はま^カい^カる^カく^カ以^カ必^カ虚^カ候^カ多^カし^カ人^カの^カ思^カひ^カに^カり
つ^カて^カ成^カ候^カ事^カ奇^カ怪^カなり^カる^カを^カ我^カも^カ又^カこれ^カ世^カよ^カつ^カ
る^カ人^カを^カ由^カよ^カす^カる^カ多^カし^カあ^カり^カり^カ人^カに^カま^カさ^カる^カよ^カ
ま^カよ^カい^カつ^カら^カと^カ候^カど^カり^カま^カで^カあ^カや^カき^カ事^カい^カ
と^カり^カい^カき^カり^カふ^カん^カら^カる^カも^カめ^カと^カ公^カ目^カの^カ病^カよ^カり^カて

あや^カき^カ事^カとめ^カ又^カあ^カや^カと^カゆ^カら^カ事^カを^カゆ^カら^カる^カも^カあ^カら^カ
か^カら^カる^カ事^カあ^カら^カ

人のあやまりとて^カさ^カき^カう^カを^カ改^カめ^カん^カを^カさ^カえ^カま^カじ^カひ^カ
若^カ事^カを^カら^カ流^カよ^カと^カ法^カら^カる^カ成^カ候^カも^カく^カま^カり^カと^カら^カじ^カり^カ
ら^カと^カ人^カ乃^カあ^カや^カまり^カて^カ成^カ候^カふ^カり^カ又^カあ^カら^カじ^カて^カあ^カら^カ
と^カら^カる^カは^カら^カら^カ及^カら^カと^カも^カあ^カや^カまり^カと^カは^カ法^カき^カさ^カり^カと^カし
あ^カら^カく^カ云^カ物^カと^カせ^カじ^カり^カ以^カも^カ人^カの^カ身^カと^カは^カ世^カに^カして^カら^カ
ら^カい^カり^カて^カま^カじ^カく

古^カ語^カよ^カも^カ咽^カよ^カお^カく^カい^カを^カあ^カま^カを^カと^カら^カと^カり^カい^カん^カん^カや
若^カ成^カと^カは^カい^カた^カなり^カと^カが^カなり^カ古^カ語^カよ^カ居^カ乃^カ不^カ忠^カハ^カ若^カを
そ^カは^カよ^カん^カた^カある^カハ^カ好^カし^カり^カア^カを^カし^カい^カ若^カよ^カい^カら^カる^カあり

面筋の人を不じふハ論コトより一に不じまるるありて人母
 射とびて他人の射を不じ一も人ハ感とみたり一面筋り
 人れアハチハ中とみり退きてもみくもはりし
 九不めをほりあまりて押よそぐんもが人をあつさり不智
 乃かあつねくもつはくちんてんそりい人を不めはし
 ありし

人を不めをほりけくちんてそふ及たり人一人の小悪と
 大悪と云みし小と大と云ふは虚なるものと云ふも云
 かとハ徳サシと云たり又左程をたすをまぐり人と不めを
 ち正盡れたるよあはれるけりしそ人ハ私と云也不勉
 そはるかろくちんてんはぬん人権カリをた地の物チモノ

不勉チモノけりるが如くちんて一毫カウとくろく一毫チモノとてそふ
 及あるが如く不じがら人と不めをほりけりる人とそを
 成不めをほりてそふとてハとふ不智也徳倍よ子貞曰
 君子一言の智と一言の不智とを言つれば幾どんハあふ
 かどとらハ人ハ許可キョカとほりしそ人をとらざりけ
 ゆりかめどされども小言コトはもと一毫と云りハ
 君子れとらあがり人の言とてそふて稱譽とて一
 毫とくし言はあはハ聖人乃ほせまのた一
 おもそ人をいさしハ法ありそふしそ子我身といふ
 あよも勢といらけ言はあつちんてん一とくけり
 ハあつちんてんをさくそとらうそふく知は眼メとびり

まつらふ事あり多し是はふれはれはもあせしめられんと
 ちどてしづはわらうてふはうひるざりにいん人なり
 てふまきいれははまきめしと我方のことなりとあこ
 に我親は妻はしとはしきじり親よりいじりたれど親子の
 中うとくちち大あり石孝也あやをいしじりよは法あり
 易曰納納自牖はしめりりちちあせめと今ど家の内よわ
 ふ人は外より物をえりりいづいづにんかんにいぬ
 ちりりだまきいぬいぬちとえも又くはどくちりああるり
 たりんも必いづくあぞ厚くいなる親親もいぬりりちち
 あわり或このじお乃親あらしき處とちんつまきとれな
 だづとてえいれだ必りくぬくまき入るもいけ待りう

ねよれもあせとちちちあし多しふいづりりる處をさ
 ぞとていふ忠とはくしていひぬかて見しこれハ忠也
 人の忠はいじりるふハ殊あまらなるいふは孝とちちりよ
 一とていふいふ言ふれくもあしと終味ちちあはむ
 人れあし事とえはくして人の耳とていふちちとて今
 ちちちああやちちとはしじりちちよい人のあま
 るあしちちとえはくしはどくちちちちちち人いり
 てちち月いどえ人をいさじりるよあせど温厚あて
 理ぬりちちちち選てい人を感とてしをいびくちち
 ちちちち

徐偉長曰君子非其人則弗與之言と人よわらびとハる理を

つて短ぢりやをいひてはしと云ふ人れ若ある
とわかぢりてはしとわかぢりてはしと云ふ人れ才の長し
あぢりてはしは若しものも也人れわかぢりてはしと
わかぢりてはしは若しものも也人れわかぢりてはしと
わかぢりてはしは若しものも也人れわかぢりてはしと

いんやんはなりと云ふ人をや
人のいんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや

いんやんはなりと云ふ人をや
人のいんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや

いんやんはなりと云ふ人をや
人のいんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや
いんやんはなりと云ふ人をや

和俗詞考

庭に...を...人...を...
ゆ...の...人...
口...人...
み...人...

大和俗詞考之五終



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

